

月	《単元名・教材名》	時数	《単元目標》	観点別評価規準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4・5	わたしの大切な風景(絵)	5	日頃の生活の中にある自分にとって大切な風景を見たり思い浮かべたりしながら、そのときの様子や思いに合う形や色の特徴を捉え、工夫して絵に表すことを楽しむ。	知:自分にとっての大切な風景を、思いが表れるように工夫しながら絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。 技:表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに前学年までの描画材についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	表:動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、風景から感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 鑑:動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に自分にとって大切な風景を、思いが表れるように工夫しながら絵に表す学習活動に取り組もうとしている
5・6	くるくるクランク	7	クランクの仕組みを生かして、動きのある面白いおもちゃなどを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す	知:クランクの仕組みを使って、楽しく動くものをつくる時の感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解している。 技:表現方法に応じて身近な材料などを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	表:動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 鑑:動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、動かすなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的にクランクの仕組みを使って、楽しく動くものをつくる学習活動に取り組もうとしている。
7	音のする絵	4	墨と水を使ってできることを試しながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。	知:墨と水を使って和紙に試しながら、思いを広げて表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解している。 技:表現方法に応じて墨を活用するとともに、前学年までの水や筆などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	表:動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、墨でかいて感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 鑑:動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に墨と水を使って和紙に試しながら、思いを広げて絵に表す学習活動に取り組もうとしている。
8・9	固まった形から	5	液体粘土で固めた布の形の美しさや面白さを感じ取り、見立てたり、形を生かしたりして、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、想像を広げて立体に表す。	知:布を固めた形から想像を広げて立体に表すときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解している。 技:表現方法に応じて液体粘土を活用するとともに、前学年までの水彩絵の具や布についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	表:動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、布の形を変えたり固まった布の形をいろいろな向きから見たりして、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 鑑:動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に液体粘土で布を固めた形から想像を広げて立体に表す学習活動に取り組もうとしている。
10	墨と水から広がる世界	4	身近な音を感じながら形や色を思い浮かべ、造形的な特徴を捉えながら自分の思いに合う表し方を工夫して絵に表す。	知:身近な音を感じながら形や色を思い浮かべ、イメージを広げて絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。 技:表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、水彩絵の具などの描画材についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	表:動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な音を聞いて感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 鑑:動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美	つくりだす喜びを味わい主体的に身近な音を感じながら形や色を思い浮かべ、イメージを広げて絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

11	未来のわたし	7	<p>未来の自分を想像し、自分が将来したいことなどを考え、夢や願いを込めて材料や形のつくり方を工夫して、形や色などの造形的な特徴を捉えながら立体に表す。</p>	<p>知:未来の自分を想像して表すときの感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。 技:表現方法に応じて針金やペンチを活用するとともに、前学年までの紙粘土や水彩絵の具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>表:動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、未来の自分の様子について感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 鑑:動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい主体的に未来の自分を想像して、ポーズや周りの様子も考えながら立体に表す学習活動に取り組もうとしている。</p>
12	ここから見ると作品展鑑賞	3	<p>身近な場所の特徴を基に、空間の奥行きなどを生かし、ある一点から見ると何かの形に見えるような工夫をして、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、見る人が楽しくなるようなものをつくる。</p>	<p>知:場所の奥行きを生かして、楽しく見えるものをつくるときの感覚や行為を通して、奥行き、バランスなどを理解している。 技:活動に応じて色画用紙やテープを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくっている。</p>	<p>表:奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、場所や空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。 鑑:奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちのつくりだしたものの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、つくり方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい主体的に場所の奥行きを生かして、楽しく見えるものをつくる学習活動に取り組もうとしている。</p>
1・2	版で広がるわたしの思い	7	<p>これまでの経験を生かし、自分の思いに合った版に表す技法を用いて、彫りや刷りの効果を確かめながら、形や色などの造形的な特徴を捉え、版に表す。</p>	<p>知:自分の思いに合った版や刷り方を考えて表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。 技:表現方法に応じて版画の用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>表:動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 鑑:動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい主体的に自分の思いに合った版や刷り方を考えて表す学習活動に取り組もうとしている。</p>
2・3	1枚の板から(卒業記念作品づくり)	6	<p>1枚の板材から、用途を考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、構造やつくり方を工夫して、生活の中で使えるものをつくる。</p>	<p>知:生活を楽しく豊かにするものを、1枚の板から無駄のない使い方を考えてつくるときの感覚や行為を通してバランス、材質感の違いなどを理解している。 技:表現方法に応じて電動糸のこぎりや塗料を活用するとともに、前学年までののこぎり、金づち、釘、水彩絵の具などの描画材などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>表:形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 鑑:形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい主体的に生活を楽しく豊かにするものを、1枚の板から無駄のない使い方を考えてつくる学習活動に取り組もうとしている。</p>